

様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数							非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数			
医療学部 作業療法学科	4人	3人	2人	3人	11人	8人	8人	0人	0人	15.9人
計	4人	3人	2人	3人	11人	8人	8人	0人	0人	—

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
<input type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
<input type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
<input type="radio"/>	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
<input type="radio"/>	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
<input type="radio"/>	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
<input type="radio"/>	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
<input type="radio"/>	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】 養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	心理学	15	堀川 悦夫	教授(専任)
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	哲学	8	土持 貴志	非常勤
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	倫理学	8	土持 貴志	非常勤
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	文学	8	非開講	
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	教育学	15	飯田 史也	非常勤
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	教育方法論	15	原北 祥悟	非常勤
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	コミュニケーション概論	15	田原 直美	非常勤
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	死生学-死を通して生を考える-	15	楠葉 洋子	准教授(専任)
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	雑談と傾聴-話す力と訊く力-	15	石川 幸伸	准教授(専任)
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	日本近現代史	15	丹羽 敦	教授(専任)
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	宗教学	15	中藪 寿人	准教授(専任)
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	海外保健福祉事情 I (講義)	8	多賀 誠	准教授(専任)
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	海外保健福祉事情 II (実習)	45	多賀 誠	准教授(専任)
			45	丹羽 敦	教授(専任)
			45	松田 隆治	准教授(専任)
			45	中藪 寿人	准教授(専任)
			45	佐野 伸之	講師(専任)
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	アジア比較文化論	8	山本 秀也	非常勤
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	法学	8	非開講	
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	経済学	8	吉川 卓也	非常勤
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	社会学	8	今井 竜也	非常勤
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	国際医療福祉論	15	伊藤 豪	非常勤
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	社会保障制度論	15	財津 裕一	教授(専任)
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	ボランティア論	8	松岡 佐智	非常勤
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活, 社会の理解	ボランティア実践	8	石川 幸伸	准教授(専任)
総合	科学的思考の基盤, 人間と生活	生物学	15	世波 貴子	非常勤

総合	科学的思考の基盤，人間と生活	生化学	15	森 望	教授(専任)
総合	科学的思考の基盤，人間と生活	物理学	15	安本 誠一	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活	データサイエンス	15	山之口 稔隆	講師(専任)
総合	科学的思考の基盤，人間と生活	医療と ICT	15	山之口 稔隆	講師(専任)
総合	科学的思考の基盤，人間と生活	生命倫理	15	土持 貴志	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活	人間工学	15	岸田 文	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活	医学・医療史	15	森田 正治	教授(専任)
総合	人間と生活	健康科学理論	8	高原 和子	非常勤
総合	人間と生活	健康スポーツ実践	15	高原 和子	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	大学入門講座	8	森田正治	教授(専任)
総合			2	丹羽敦	教授(専任)
総合			1	吉富健志	教授(専任)
			1	多賀誠	準教授(専任)
			1	爲数哲司	教授(専任)
総合			1	谷口隆憲	講師(専任)
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	メディカルマナー入門	15	川口 賀津子	教授(専任)
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	医療福祉教養講義	15	松藤 佳名子	準教授(専任)
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	医学英語 I	15	Jenny McDonald	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	医学英語 II	15	Law ChingKead	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	英語 (基礎)	15	Jenny McDonald	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	英語 (応用)	15	Glenn Killion	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	英会話	15	Jenny McDonald	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	韓国語*	30	李 尚恩	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	中国語*	30	王 美蘭	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	日本語 I	15	澤 真澄	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	日本語 II	15	澤 真澄	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	日本語 III	15	澤 真澄	非常勤
総合	科学的思考の基盤，人間と生活，社会の理解	日本語 IV	15	澤 真澄	非常勤

専門基礎	人体の構造と機能，及び心身の発達	解剖学Ⅰ	15	村田 祐造	非常勤
専門基礎	人体の構造と機能，及び心身の発達	解剖学Ⅱ	15	河野 史	非常勤
専門基礎	人体の構造と機能，及び心身の発達	解剖学実習	23	河野 史	非常勤
専門基礎	人体の構造と機能，及び心身の発達	生理学Ⅰ	15	森本 幸生	非常勤
専門基礎	人体の構造と機能，及び心身の発達	生理学Ⅱ	15	森 望	教授(専任)
専門基礎	人体の構造と機能，及び心身の発達	生理学実習	23	飛松 省三	教授(専任)
			23	中藪 寿人	准教授(専任)
			2	佐野 伸之	講師(専任)
専門基礎	人体の構造と機能，及び心身の発達	病理学	15	田川 辰也	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床医学概論	15	原 英夫	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	15	財津 裕一	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	15	浅見 豊子	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	15	田川 辰也	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅱ	15	田川 辰也	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	神経学Ⅰ	15	飛松 省三	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	神経学Ⅱ	15	飛松 省三	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅰ	15	島田 哲郎	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅱ	15	佐伯 和彦	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学Ⅰ	15	尾籠 晃司	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学Ⅱ	15	尾籠 晃司	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	15	濱本 邦洋	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	老年学	15	堀川 悦夫	教授(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	人間発達学	15	木村 まり子	助教(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学概論	15	堀川 悦夫	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	救急医学	8	後藤 純信	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	基礎薬理学	8	森 望	教授(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	栄養学	8	近江 雅代	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	カウンセリング論	8	堀川 悦夫	教授(専任)

専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リスクマネジメント論	15	原 英夫	教授(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	ケアマネジメント論	8	大谷 久也	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	医用画像診断学	8	工藤 祥	非常勤
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅰ	15	松田 大輝	助教(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅱ	15	松田 大輝	助教(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動生理学	8	中藪 寿人	准教授(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学実習	23	松田 大輝	助教(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	4	丹羽 敦	教授(専任)
			4	森田 正治	教授(専任)
			2	吉富 健志	教授(専任)
			1	多賀 誠	准教授(専任)
			1	木村 まり子	助教(専任)
			2	吉永 明史	講師(専任)
			1	佐々 木信	講師(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	保健医療福祉制度論	15	辻 雅善	非常勤
				舩越 駿介	非常勤
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	関連職種連携論	11	潮井川 修一	助教(専任)
			9	高野 政子	教授(専任)
			1	森田 正治	教授(専任)
			1	丹羽 敦	教授(専任)
			1	彌永和美	准教授(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	関連職種連携ワーク	15	松藤 佳名子	准教授(専任)
			15	中藪 寿人	准教授(専任)
			15	佐野 伸之	講師(専任)
			15	木村 まり子	助教(専任)

専門	作業療法管理学	作業療法概論	8	丹羽 敦	教授(専任)
専門	基礎作業療法学	作業学概論	8	丹羽 敦	教授(専任)
専門	基礎作業療法学	作業応用論	15	未開講	
専門	基礎作業療法学	卒業研究Ⅰ	30	丹羽 敦	教授(専任)
			30	松田 隆治	准教授(専任)
			30	多賀 誠	准教授(専任)
			30	中藺 寿人	准教授(専任)
			30	佐野 伸之	講師(専任)
			30	木村 まり子	助教(専任)
			30	平賀 勇貴	助教(専任)
			30	松田 大輝	助教(専任)
専門	基礎作業療法学	卒業研究Ⅱ	30	丹羽 敦	教授(専任)
			30	松田 隆治	准教授(専任)
			30	多賀 誠	准教授(専任)
			30	中藺 寿人	准教授(専任)
			30	佐野 伸之	講師(専任)
			30	木村 まり子	助教(専任)
			30	平賀 勇貴	助教(専任)
			30	松田 大輝	助教(専任)
専門	作業療法管理学	リハビリテーション管理論	8	丹羽 敦	教授(専任)
専門	作業療法管理学	作業療法倫理学	8	未開講	
専門	基礎作業療法学	作業療法総括論	15	丹羽 敦	教授(専任)
			15	松田 隆治	准教授(専任)
			15	多賀 誠	准教授(専任)
			15	中藺 寿人	准教授(専任)
			15	佐野 伸之	講師(専任)
			15	木村 まり子	助教(専任)
			15	平賀 勇貴	助教(専任)
			15	松田 大輝	助教(専任)

専門	基礎作業療法学	作業工程技術学・基礎論	15	松田 大輝	助教(専任)
専門	基礎作業療法学	作業工程技術学・応用論	15	松田 大輝	助教(専任)
専門	基礎作業療法学	作業分析学Ⅰ(基礎)	15	佐野 伸之	講師(専任)
専門	基礎作業療法学	作業分析学Ⅱ(応用)	15	佐野 伸之	講師(専任)
			2	丹羽 敦	教授(専任)
			2	多賀 誠	准教授(専任)
			2	中藪 寿人	准教授(専任)
			2	松田 隆治	准教授(専任)
			2	木村 まり子	助教(専任)
			2	平賀 勇貴	助教(専任)
			2	松田 大輝	助教(専任)
専門	作業療法評価学	生活機能論	15	丹羽 敦	教授(専任)
			1	多賀 誠	准教授(専任)
			1	木村 まり子	助教(専任)
専門	作業療法評価学	作業療法評価学概論	8	松田 隆治	准教授(専任)
専門	作業療法評価学	作業療法評価学各論	15	松田 隆治	准教授(専任)
専門	作業療法評価学	基礎運動機能評価法	15	松田 隆治	准教授(専任)
			15	松田 大輝	助教(専任)
専門	作業療法評価学	高次脳機能評価法	8	中藪 寿人	准教授(専任)
専門	作業療法評価学	作業療法評価学演習	10	佐野 伸之	講師(専任)
			5	木村 まり子	助教(専任)
専門	作業療法治療学	作業療法諸理論	4	松田 隆治	准教授(専任)
			2	多賀 誠	准教授(専任)
			2	木村 まり子	助教(専任)
専門	作業療法治療学	中枢神経疾患作業療法Ⅰ(総論)	15	松田 隆治	准教授(専任)
専門	作業療法治療学	中枢神経疾患作業療法Ⅱ(各論)	15	中藪 寿人	准教授(専任)

専門	作業療法治療学	中枢神経疾患作業療法学Ⅲ（特論）	8	松田 隆治	准教授（専任）
専門	作業療法治療学	高次脳機能障害作業療法学	15	中藺 寿人	准教授（専任）
専門	作業療法治療学	老年期作業療法学	15	平賀 勇貴	助教（専任）
専門	作業療法治療学	運動器疾患作業療法学	15	吉田 亮平	非常勤
専門	作業療法治療学	内科系疾患作業療法学	15	松田 隆治	准教授（専任）
専門	作業療法治療学	精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	15	多賀 誠	准教授（専任）
専門	作業療法治療学	精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	15	多賀 誠	准教授（専任）
専門	作業療法治療学	精神疾患作業療法学Ⅲ（特論）	8	多賀 誠	准教授（専任）
専門	作業療法治療学	小児作業療法学Ⅰ（総論）	15	木村 まり子	助教（専任）
専門	作業療法治療学	小児作業療法学Ⅱ（各論）	15	木村 まり子	助教（専任）
専門	作業療法治療学	小児作業療法学Ⅲ（特論）	8	木村 まり子	助教（専任）
専門	作業療法治療学	作業療法適用学概論	8	中藺 寿人	准教授（専任）
専門	作業療法治療学	コミュニケーション技術論	9	多賀 誠	准教授（専任）
			2	佐野 伸之	講師（専任）
			2	木村 まり子	助教（専任）
			2	松田 大輝	助教（専任）
専門	作業療法治療学	生活技術学Ⅰ（総論）	15	佐野 伸之	講師（専任）
専門	作業療法治療学	生活技術学Ⅱ（各論）	15	佐野 伸之	講師（専任）
			4	丹羽 敦	教授（専任）
			4	松田 隆治	准教授（専任）
専門	作業療法治療学	障害代償学概論	8	平賀 勇貴	講師（専任）
専門	作業療法治療学	自助具・福祉機器適用論	15	平賀 勇貴	講師（専任）
専門	作業療法治療学	装具・副子適用論	15	平賀 勇貴	助教（専任）
専門	作業療法治療学	義肢適用論	15	平賀 勇貴	助教（専任）
専門	地域作業療法学	バリアフリー論	8	平賀 勇貴	助教（専任）
専門	地域作業療法学	住環境整備論	15	平賀 勇貴	助教（専任）
専門	地域作業療法学	地域生活作業療法論	9	木村 まり子	助教（専任）
			2	多賀 誠	准教授（専任）



			2	丹羽 敦	教授(専任)
			1	池辺 祥太郎	非常勤
			1	石見 美保子	非常勤
専門	地域作業療法学	地域生活支援論	8	木村 まり子	助教(専任)
専門	作業療法治療学	職業関連技術学	15	多賀 誠	准教授(専任)
専門	作業療法治療学	作業療法応用学概論	8	木村 まり子	助教(専任)
専門	臨床実習	基礎実習Ⅰ	1	丹羽 敦	教授(専任)
			1	松田 隆治	准教授(専任)
			1	多賀 誠	准教授(専任)
			1	中菌 寿人	准教授(専任)
			23	佐野 伸之	講師(専任)
			1	木村 まり子	助教(専任)
			1	平賀 勇貴	助教(専任)
			23	松田 大輝	助教(専任)
専門	臨床実習	基礎実習Ⅱ	1	丹羽 敦	教授(専任)
			1	松田 隆治	准教授(専任)
			1	多賀 誠	准教授(専任)
			23	中菌 寿人	准教授(専任)
			23	佐野 伸之	講師(専任)
			1	木村 まり子	助教(専任)
			1	平賀 勇貴	助教(専任)
			1	松田 大輝	助教(専任)
専門	臨床実習	地域作業療法実習	1	丹羽 敦	教授(専任)
			1	松田 隆治	准教授(専任)
			1	多賀 誠	准教授(専任)
			1	中菌 寿人	准教授(専任)
			1	佐野 伸之	講師(専任)
			23	木村 まり子	助教(専任)
			1	平賀 勇貴	助教(専任)

			23	松田 大輝	助教(専任)
専門	臨床実習	検査・測定 実習	23	丹羽 敦	教授(専任)
			23	松田 隆治	准教授(専任)
			23	多賀 誠	准教授(専任)
			23	中藺 寿人	准教授(専任)
			23	佐野 伸之	講師(専任)
			23	木村 まり子	助教(専任)
			23	平賀 勇貴	助教(専任)
			23	松田 大輝	助教(専任)
			専門	臨床実習	評価実習
68	松田 隆治	准教授(専任)			
68	多賀 誠	准教授(専任)			
68	中藺 寿人	准教授(専任)			
68	佐野 伸之	講師(専任)			
68	木村 まり子	助教(専任)			
68	平賀 勇貴	助教(専任)			
68	松田 大輝	助教(専任)			
専門	臨床実習	総合実習 I			
			180	松田 隆治	准教授(専任)
			180	多賀 誠	准教授(専任)
			180	中藺 寿人	准教授(専任)
			180	佐野 伸之	講師(専任)
			180	木村 まり子	助教(専任)
			180	平賀 勇貴	助教(専任)
			180	松田 大輝	助教(専任)
			専門	臨床実習	総合実習 II
180	松田 隆治	准教授(専任)			
180	多賀 誠	准教授(専任)			
180	中藺 寿人	准教授(専任)			

			180	佐野 伸之	講師(専任)
			180	木村 まり子	助教(専任)
			180	平賀 勇貴	助教(専任)
			180	松田 大輝	助教(専任)

【自己評価 2-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
種々の施設の役割や各施設における作業療法の役割について理解する。(見学)	1年前期 1年後期	社会保障制度論	1年前期
		リハビリテーション概論	1年前期
		作業療法概論	1年前期
通所リハビリテーションおよび訪問リハビリテーションにおける作業療法の実際を理解する。(見学)	2年前期	社会保障制度論	1年前期
		地域生活支援論	1年後期
		地域生活作業療法論	2年前期
		バリアフリー論	2年前期
基本的な検査測定を経験し、臨床実践と学内講義との統合を図る。(実践)	3年後期	作業療法評価学概論	2年前期
		作業療法評価学各論	2年後期
		基礎運動機能評価法	2年後期
		高次能機能評価法	2年後期
		コミュニケーション技術論	3年後期
一連の作業療法評価を体験し、臨床における作業療法の実際の理解を深める(実践)	3年後期	作業療法評価学概論	2年前期
		生活機能論	2年後期
		作業療法評価学各論	2年後期
		基礎運動機能評価法	2年後期
		高次能機能評価法	2年後期
		コミュニケーション技術論	3年後期
対象者の障害像について適切な臨床推論形成を経験できる。	4年前期	作業療法評価学各論	2年後期
		作業療法適用学概論	2年後期
		障害代償学概論	2年後期
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ(総論)	3年前期
		高次脳機能障害作業療法学	3年前期
		老年期作業療法学	3年前期
		運動器疾患作業療法学	3年前期
		内科系疾患作業療法学	3年前期
		精神科疾患作業療法学Ⅰ(総論)	3年前期
		小児作業療法学Ⅰ(総論)	3年前期
		生活技術学Ⅰ(総論)	3年前期
		コミュニケーション技術論	3年後期

複合疾患を有する対象者においても適切な臨床推論形成を経験できる。(実践)	4年前期	作業療法評価学各論	2年後期
		作業療法適用学概論	2年後期
		障害代償学概論	2年後期
		高次脳機能障害作業療法学	3年前期
		老年期作業療法学	3年前期
		運動器疾患作業療法学	3年前期
		内科系疾患作業療法学	3年前期
		精神科疾患作業療法学Ⅱ(各論)	3年前期
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ(各論)	3年後期
		小児作業療法学Ⅱ(各論)	3年後期
		生活技術学Ⅱ(各論)	3年後期
		コミュニケーション技術論	3年後期
		作業療法応用学概論	3年後期

【自己評価 3-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	医療学部自己点検・自己評価委員会
委員名（委員長）	原英夫学長（委員長）
組織の開催頻度	1年に4度
組織の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生による授業評価の分析</li> <li>・ 委員による授業参観の企画</li> <li>・ 教育改善の研修会の開催企画</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己点検・評価の基本方針及び自己点検・評価項目の策定</li> <li>・ 自己点検・評価の組織及び体制の整備</li> <li>・ 自己点検・評価の実施</li> <li>・ 各部・学科等の自己点検・評価の総括及び検証</li> <li>・ 自己点検・評価報告書の作成及び公表</li> <li>・ 外部評価及び第三者評価</li> <li>・ 認証評価</li> <li>・ その他自己点検・評価策定</li> </ul>
自己点検・評価結果の公表	H Pで公表（URL： <a href="https://fiuhw.takagigakuen.ac.jp/">https://fiuhw.takagigakuen.ac.jp/</a> ）

【自己評価 4-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する仕組み	名称	教務委員会カリキュラム部会
	委員構成等	教務委員長が指名する専任教員、学務課長、その他教務委員長が必要と認めた者
	改善の仕組みの実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムの編成に関すること</li> <li>・ カリキュラム運営の方法並びにその改善及び支援に関すること</li> <li>・ その他カリキュラムに関すること</li> </ul>

【自己評価 4-3】 自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

自主的な自己点検・評価を常に実施し、そこで得た自己点検・評価活動の誠実性は、現状把握のために必要な調査や基礎データ及び資料を十分に収集・整理し分析・検討しており、そのエビデンスに基づいた自己点検・評価の結果は、ホームページを通じて学内共有を図るとともに、社会への公表を実行している。